

東北地方工事安全施工推進大会（SAFETY2011）

日 時 平成23年11月10日（木）

場 所 仙台市青年文化センター

主 催 東北地方整備局、東北6県、仙台市
NEXCO 東北支社。道建協ほか15業団体
出席者 約450名（道建協 17社 25人）



次 第

1. 黙とう
2. 主催者並びに来賓挨拶
3. 優良企業（現場代理人）表彰 60名
4. 現場事例紹介
 - ・ 優良企業（現場代理人）表彰代表 ㈱佐藤工務店 大和田弘光 様
 - ・ 東北建設業団体連合会 ㈱橋本店 佐々木光也 様
 - ・ (社)日本建設業連合会東北支部 鹿島建設㈱ 横山 正信 様
5. 決意表明

【会員関係：表彰】

- ・ 向中野道路舗装工事 松崎 真一（大林道路㈱東北支店）
- ・ 仙台西地区歩道工事 原田 紀彰（㈱ガイアートT・K東北支店）
- ・ 北四番丁大衡線（荒巻本沢工区）舗装新設工事 川名 敏明（日建工業㈱）
- ・ 宮ノ下高架橋下部工工事 菅野 勝正（仙建工業㈱）
- ・ 常磐自動車道 羽黒川橋（下部工）工事 水野谷正弘（堀江工業㈱）

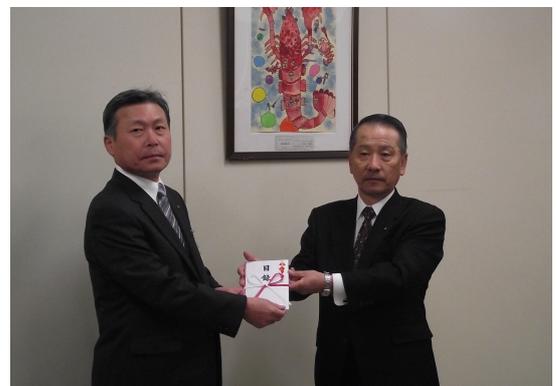
仙台市内の小中学校に「テント」を寄贈

協会社会貢献活動の一環として、日本大震災で被災した仙台市内の小中学校に「行事用テント」を寄贈することになり、12月6日 仙台市教育委員会において、贈呈式を行いました。

式では、早稲田支部長から仙台市教育委員会の青沼一民教育長に「行事用テント28張」贈呈の目録が手渡され、青沼教育長から次のような謝辞がありました。

「今回の震災で、市内の多くの学校で施設が損壊し、3校が津波で流され、10校が仮設の校舎で授業をしている。学校用具も不足しているの、地域の方々の集まりもあり、様々な使い方ができるのでありがたい。有効につかっていきたい」

テントは屋外行事用のもので、大きさ2間×3間で、横幕が3方+1方の取外しタイプで、震災支援時に調達した未使用品で、今回テント屋根に小中学校名を名入れして贈呈しました。



テント本体は12月21日に、事務局2名が下記14校に出向き、1校2張ずつ引渡しを済ませました。

西多賀小、将監小、将監西小、蒲町小、南光台小、折立小、中野小、
荒浜小、東六郷小、愛宕中、南光台東中、七北田中、西山中、高砂中

*「荒浜小学校」から礼状が届きましたので、掲載します。

平成23年12月28日

社団法人
日本道路建設業協会
東北支部 様

仙台市立荒浜小学校
校長 川村孝男

テントの御礼

ここ東宮城野地区にも空から白いものがちらほらと降って参りました。いよいよ冬本番を迎えました。

貴団体におかれましては、ますますご発展のこととお喜び申し上げます。

さて、今回、テント2張をいただきました。心から感謝申し上げます。

学校は、大きな行事ごとにテントを何張も必要といたします。9月に行った学校の運動会にもたくさんの方々がこられ、子供たちに声援を送っていただきました。荒浜小運動会は、地域と共に行う学区民運動会という形態を取っていました。学校の演技の間に、地区対抗（6つの町内会対抗）の種目もあり、テントの下で熱のこもった応援をしていた地域です。各地域ごとに自前のテントもあり、早朝より、校庭に張り出すそんな地域でした。

今回の津波によって、学校のテントはもちろん、地域住民の財産のテントも全て流され、大変困っていたところでした。今年は、近隣校よりお借りし、なんとか無事行えましたが、今回いただいたテントがあれば、運動会もよりスムーズに運営できそうです。

荒浜小学校は、去る11月26日学芸会を終え、ほっとしているところです。3月11日の震災当時は、実行が難しいと思われていた大きな二大行事（9月運動会、11月学芸会）を実施でき、職員一同心から喜んでいる次第です。

少しずつですが、確かな歩みを進めることができ、学校としても少し自信ができました。

学校の再建は、始まったばかりです。今後ともご支援よろしく願いいたします。



みんなでお礼の横断幕を作りました。



運動会で楽しく演技をしました。